沼津市地域防災訓練

令和７年12月７日(日)

突然発生する南海トラフ巨大地震を想定して、発生直後の応急対策について実践的な訓練を実施しました。これにより地域の防災体制の確立・防災意識の向上を図りました。

参加者に配っていました。

下石田自治会の防災訓練の様子

日吉自治会の様子

中石田自治会の様子

大岡団地自治会の防災訓練の様子

令和7年12月木瀬川自治会地　域　防　災　訓　練

日時:12月7日(日曜日)

　木瀬川自治会では地域防災訓練として、地震や台風などの災害を想定して、「自分たちの地域は自分たちで守る」ことを目的に行われました。7:30分に自治会四役、防災部長が公民館へ集合。8:45分に避難所責任は本部公民館へ集合して、集計表・来場者カード・ハンドスピーカーの配布を受け、9:00に沼津市の防災訓練の同報無線で地震発生に伴う地域防災訓練に基づき、決められた7カ所の第一避難場所へ避難してくる住民の数などを集計して本部に連絡しました。

各第1避難所風景

　今回の地域防災訓練の目的は、災害が起きたときの行動を具体的にイメージし、備える意識を高めることが大切です。また、災害時の対応能力強化を高める事が重要です　1　人ひとりが実際の災害時に迅速かつ適切に行動できるように、避難経路や第1避難場所への移動、複数の経路を日頃から確認しましょう。この機会に地域コミュニティの強化を図り近隣住民との連携(共助)を深め、お互いに助け合う体制を作ることが大切です。この防災訓練をきっかけに家族で避難所、避難経路、備蓄品(食料・水・簡易トイレ)など日頃から家族で話し合っておきましょう。